

# ASSIST

芽吹く未来へ

社会福祉法人 萌葱の郷  
自閉症総合支援センター  
子育て総合支援センター

2022.12.1  
**Vol.23**



企画展「Junction art」佐藤省吾



# 虐待根絶を

理事長 五十嵐 康郎

大分合同新聞9月1日付朝刊に中井やまゆり園の虐待についての報道がありました。

報道によると、職員が利用者に暴行を加える場面が施設内のカメラに写っていたにも関わらず、幹部職員が虐待の通報をせず、隠蔽していたことが31日、共同通信が入手した映像や内部資料で分かったとありました。

9月6日の追加報道で、県が設置した外部調査委員会は5日、2015年以降、虐待の疑いがある事例が25件確認され、関与した職員や元職員は75名に上り、虐待の意識が欠如し、不適切な対応が横行していた。職員間の対立や風通しの悪さから、利用者の支援について話し合う機会がなく、管理職のマネジメントも作用しなかったことを背景にあげていました。

ネットで検索したところ、2014年の神奈川新聞に11月28日夜、男性利用者が自傷行為をやめないため、ボードにのせて体の3カ所をベルトで固定する抑制器具を使用、その後、男性が嘔吐し、意識・呼吸共になくなっていることを発見、搬送先で死亡が確認されたとの記事がありました。

2021年10月2日付47NEWSに2019年7月、男子寮の一つ「山寮」で、男性利用者が鎖骨を骨折、ある男性職員が洗濯物を運ぶカートを押してぶつけた他害を指摘する声があがったが、園は「寝転がっていた利用者を他の利用者が踏んだことが原因」として処理した。「利用者を1日20時間以上、外から鍵をかけた個室に閉じ込めている」「入所者の不自然な怪我が絶えない」「職員による暴行なのに、事故扱いにして隠蔽していた」などと、信じがたい記事が次々出てきました。

長時間の閉じ込めが行われているのは、自閉症で強度行動障害があるとされた男性用の「泉寮」と女性用の「秋

寮」で、「泉寮では人と交わると利用者が不安定になるなどと独特の考え方が何十年も続いていて変えようという気配はない」との証言もありました。

共同通信の市川記者によると泉寮は独特の存在で、他の寮は鍵が共通で行き来できるのだが、泉寮は鍵が違って、他寮の職員も保護者も入れない。泉寮の職員は「俺たちは特別だ」というエリート意識があって、県の本庁に異動した後、課長や部長として戻ってくるとあり、現在の生活支援部長も元泉寮職員だったと記載されています。

前記の通り、何度も検証の機会があったにもかかわらず、隠蔽され、虐待が放置され常態化していました。創出版の「パンドラの箱は閉じられたのか」に殺傷事件のあった津久井やまゆり園は「むしろ日本のスタンダードか少し上ぐらい」との記載や「中井やまゆり園に比べたら津久井はましですよ」との元職員の証言があり、多くの施設で虐待が潜在化していることが危惧されます。

萌葱の郷は虐待を根絶するためには、とりわけ幹部職員の啓発と意識改革が喫緊の課題だと考えて、実践に基づく支援モデルを提唱し、スーパーバイザー養成研修やYouTubeでの発信に取り組んでいます。





# 感覚システムと 解釈システム

萌葱の郷 美術アドバイザー 木村 秀和

最近になって、ドナウイリアムスの「自閉症という体験」という本を読んだ。(僕の乏しい読書経験の中ではあるが)そこには、自閉症というものの持つ意味と本質が、他に類を見ないような深さで書かれていた。ドナは50代の若さで癌で亡くなったが、動画サイトに、この本に書かれた、感覚システムと解釈システム(おそらくドナの造語であろう。)について身振りを交えて生き生きと解説するドナの姿があげられていた。抗がん剤の影響か毛髪が抜けて、皮膚の色も悪くなっているが、サバサバとした様子で、エネルギーを込めて語る姿を見ながら、これは、彼女の遺言なのだと感じさせられた。おそらく、この本は、彼女の最後の著作だろう。それゆえ、ここまで踏み込んだ内容をあえて記述したのだと思う。

感覚システムとは、生後間もない頃しばらくの間に働いているシステムでたいいの人は、3才くらいまでの間に解釈システムへの移行がおこる。僕らは皆そこを通り抜けて来るわけだが、大抵は記憶も無い頃に解釈システムへと移行し、そのことを忘れ果ててしまうのだという。(僕自身最初の記憶は3才からのものだ。僕の場合解釈システムへの移行後から記憶が残るようになったということなのだろう。)感覚システムとはどのようなものなのか、ドナが詳細にこの本の中に書いているので、是非読んでみて欲

しい。それは不思議で、濃密な魅力に満ちた世界に直に繋がっているものようだ。解釈システムとは、僕らの存在を成り立たせている、言葉の世界、意識的な思考の世界を指している。これを獲得できなければ、現実の世界で自律的に機能することが、極めて困難になるか、まるで出来なくなってしまうだろう。それ故、解釈システムに移行することは、誰にとっても必要なことに違いない。

ただ、解釈システムへの移行にともない、元来存在していた感覚システムとの関係は、断ち切られてしまうか、極めて希薄になってしまう。二つのシステムの間には深淵が口を開けていて、たいいの僕たちは、自分たちの源郷である、その場所を忘れ果ててしまう。

自閉症とは、感覚システムから解釈システムへの移行が一般の人達に比べて、後の年齢にまでずれ込んでしまった人達なのだという。感覚システムの中で、ある程度の自己統合を遂げた人間は、解釈システムへの移行が本来の自己の自殺行為のように感じられる。深淵を前にして、足がすくんでしまうのである。人間は地上に生まれた以上一度は地に下りなくてはならないだろう。だから、彼らもゆっくりとはあれ、解釈システムの獲得のベクトルに向けて、進んで行くだろうし、支援する側はそれを導き後押しするようになるのは、むりのないことだし、間違ったことでもないであろう。

ただし、彼らの接している世界に、何も無いわけではなく、むしろ濃密で、魅力に満ちた、領域が、そこに広がっているとしたらどうだろう。そこに留まり続けることは自分の見ている世界を他者に表現することすらできないように成ることだったとしても、真善美というような、人間の生きる本質的な意味や価値は、この領域との接触によってもたらされる。どんなに要領よく見えても感覚システムから断ち切られた、解釈システムの空回りからは、機械仕掛けの無秩序しか生まれてこないとしたらどうだろう。

ドナの言うとおり、必要に応じて、双方のシステムを行き来できるというのが、人間の理想であろう。それは極めて難しいことなのだが、一方のシステムにのみかまけて、

もう一方のシステムと接触できない事を障がいと呼ぶとしたら、彼らは確かに障がい者なのかもしれない。しかしそれなら、解釈システムに捕らわれて、感覚システムとの接触の出来なくなってしまう、我々もまた、障がい者と呼べねばなるまい。どちらの障がいがいより大きく世界に害をなすか、推して知るべしだ。

この本を読んで障がいという言葉、安易に使うことができなくなってしまった。そこは、誰も通る場所なのだから。

感覚システムに根ざした意欲が、必要な、解釈システムを働かすことが出来れば、世界にとって有意義な、生きた行為が生み出されるだろう。一人の中で行うことが難しかったとしても何とかして双方のシステムを共同させること。それが、萌葱の郷の様々な現場で、利用者と職員が関係を作っていることの本質的な意味だ。彼らは何とかしてこちらへ来なければならぬ。我々は、努めて来し方を思い出さねばならない。それは、双方向的な営みなのだ。

美術表現もままならない、もっとも重度の利用者さんがもっとも深い世界に浸されているのだとしたらどうだろう。

アート課が出来て間もない頃、翌日の素材の準備で夕方活動棟に残って作業していると、Kさんが女性の職員さんに付き添われてふらりと入ってきた。部屋にあった。パイプ椅子に膝を抱えて座りながら、部屋の波長をモニターするとも言おうような風情で、ぼおーとあたりを眺めている様子を見ていて、「でも、こうして見ているとなんだか神様みたいだね。」という言葉がふと口をついて出た。「そうなんです。」間髪入れずにその職員さんは応答してくれた。もう10年前の出来事だが、印象深く思い出される。



# 特集 萌葱の郷チャンネル

## SVとは

大分県独自の認定資格  
発達障がい者支援専門員(スーパーバイザー)の略。  
医療・保健・福祉・教育・労働の各分野において、  
発達障がい児・者のライフステージを見通した  
相談や支援を行う専門家です。

あなたの町のSVさん  
スーパーバイザー



## 萌葱の郷チャンネル



お母さんも自分をほめる 関係性を築く

保護者の悩み きっかけをつくってあげる  
遊びのなかで発達していく

いろいろな見方をしてみる 人に助けを求めて



発達支援に大切なこと  
**みんな一緒に  
こだわらない  
支援の視点を委ねる。**  
発達障がい者支援専門員 4.19

発達支援に大切なこと  
**一人で悩まない  
周りと連携して  
チームで支援する**  
発達障がい者支援専門員 4.18

発達支援に大切なこと  
**早期の  
気づきと理解で  
二次障害を防ぐ**  
発達障がい者支援専門員 4.18

発達支援に大切なこと  
**たくさんの  
ケースを知って  
引き出しを増やす**  
発達障がい者支援専門員 4.17

発達支援に大切なこと  
**伴走者として  
子どもと  
同じペースで歩む。**  
発達障がい者支援専門員 4.14

発達支援に大切なこと  
**自分本位に  
なっていないか？  
自分を常に振り返る。**  
発達障がい者支援専門員 4.17

発達支援に大切なこと  
**特性と環境の  
ミスマッチに  
気づいてあげる。**  
発達障がい者支援専門員 4.11

発達支援に大切なこと  
**興味や関心を  
引き出す  
きっかけをつくる**  
発達障がい者支援専門員 4.14

発達支援に大切なこと  
**自分をほめる！  
心に余裕が生まれ  
優しくなれます。**  
発達障がい者支援専門員 4.00

発達支援に大切なこと  
**オンリーワン  
の強みを  
ステップにつなげる。**  
発達障がい者支援専門員 4.09

## 支援専門員の言葉を届ける！インタビュー動画公開中！！

「子どもの得意なこと、苦手なことを見定めて」「環境と特性のミスマッチに気付いてあげて」  
大分県発達障がい者支援センターECOAL(イコール)は現在、発達障がい者支援専門員(通称スーパーバイザー)を紹介する動画「あなたの町のSVさん」を配信しています。スーパーバイザー(以下SV)は、2006年に始まった大分県独自の認定資格で、3年間の研修を修了した有資格者は、保育、教育、福祉関係者など300人以上。地域の保育所や事業所などを訪問して、支援のアドバイスをしたり、研修会の講師を務めるなど幅広く活動しています。

動画は、YouTube「萌葱の郷チャンネル」にアップし、毎週金曜日午後6時に更新。これまでに30人以上のSVが登場し、インタビュー形式で「日々の支援で心掛けていること」などについて自身の経験や思いを述べています。現場経験が豊富なSVは地域の頼れる存在で、実践から生まれた言葉はどんな理論よりも説得力があります。療育のヒントになるだけでなく、家庭や職場など様々な場面で活かされると思います。ぜひご覧ください。

# 自閉症療育 半世紀の歩みを語る！

実践から得た事例紹介!!

五十嵐康郎理事長が、動画「現場で役立つ自閉症療育シリーズ」の配信を開始し、半世紀に渡る自閉症療育の現場で積み重ねてきた実践をシリーズで紹介しています。

大学卒業後に就職した施設で重度棟の施設撤廃に取り組んだ経験から「施設は利用者ではなく職員」の課題。支援の工夫と創造で撤廃できる」と語り、駆け出しの頃に利用者との関わりの中で〈待つこと〉〈寄り添うこと〉の大切さに気付いた経験を「反射的に叱ってれば、間違っただ対応をしたこと自体に気付かなかった」と振り返ります。また、体験に基づいた支援の在り方を紹介する一方で、不注意や自己本位の弱さから利用者の心を傷つけたり、亡くしてしまった痛恨の出来事にも触れています。

自閉症療育の最前線で、実践から学び得た言葉たちは、これからの支援や保育を担う後進へのメッセージです。今後も随時更新していきますので、お見逃しなく。

## ✓強度行動障害

- ～多動・自傷・破衣 叱るのは無意味
- ～どうする？激しい暴力
- ～無為な生活から規則正しい生活へ
- ～厳しい訓練は百害あって一利なし

## ✓こだわり行動

- ～刺激の対象を物理的に遠ざける
- ～無理に正すのは NG 対立感情が生まれます

## ✓一心不乱に打ち込めるものを提供する

## ✓自傷行為が改善された4つの事例

などなど多数の事例を紹介！



## ～ Youtube 配信に寄せて～

五十嵐 康郎



強度行動障害のある自閉症の人への不適切な支援や虐待が後を絶ちません。植松聖死刑囚は津久井やまゆり園に勤務するなかで〈意思疎通のできない障害者は生きる価値がない〉との思想を持つようになり、犯行に至りました。

強度行動障害があるとして津久井やまゆり園で居室に閉じ込められていた自閉症の人が事件後、他施設でフルタイムでイキイキと働いている事例があると知りました。

私は1971年から強度行動障害のある自閉症の人たちの支援に取り組み、強度行動障害は不適切な環境や支援による二次障がいだと確信しています。彼らから大きな感動と喜び、学びを得ました。これほどクリエイティブで自分の人生、生きることと一体になれる仕事はないと思っています。

YouTubeの発信を通して一人でも多くの人に自閉症の人たちの魅力と共感と感動を伝えたいと考えています。

## めぶきでクラスター！その時を語る



**能** めぶき園がコロナウイルスが発生したということ、概要を教えてください。教えてください。

**甲** 8月の頭の日曜日だったんですけど、ご家族から電話があった。お家で熱が出て抗原検査キットで調べてみたら陽性だったという事でした。それで急いでその方が園で療養するのに必要な体制を整えたりしました。翌日になったら園に残っていた利用者さんが一人発熱していることに朝の時点で気付きました。その後、PCR検査に行ったら二人とも陽性だったというのが始まりでした。そこからは一日何人という感染者が。どうしようと思っているうちに、32名の入所者のうち20名以上が罹ってしまうというクラスターになって職員もだいたい罹りましたね。

**能** 職員も17、8人だったかな。佐藤君はずっといて、みんながいなくなる不安があったよね。

**佐** そうですね。みんな一日過ぎる事に目のクマもそうですけど、顔に疲れが見えてきて自分自身寝ても疲れが取れないっていうのはありましたね。その疲れも本当は感染しているんじゃないかなという不安も結構ありました。

**能** 優香さんとかは逆に戻ってきたときに、ベースが出来てすごくやりやすかったです。うふうに聞いたんですけど。

**後** 出勤する2日前くらいに、めぶきが壊滅的だと連絡が来て。ちよっと目を通して聞いてほしいって言われて、先に今の現場での動き方を（紙面に）起こしたものを送ってもらって。事前に目を通していただいた、実際に動かす前に情報をたくさんもらって、今こういうふう動いているというところがあったので、動けたのかなというのがあります。

**能** みんな罹ったんですけど、後遺症とかどうですか？

**佐** 僕も目を追うことになってきて、味覚障害とかも結構あってですね。最初罹った日は、すごい元気で、意外と大丈夫かなみたいな（笑）変な慢心があったんですけど、でも次の日に高熱が出て、やっぱきついと思ったらそこから頭痛だったりとか咳が酷くなって、段々味もなくなると、あっ終わってなみたい。

ずっと続くのか〜という感じになったら5日くらいは熱は下がって、最後ちょっと咳が残ったくらいなんですけど、それも残り3日くらいは治ったので、最後の3日間は通常通りの生活が出来ていましたね。

**能** これを利用者さんたちが経験したのかと思うと、ちよっとしんどかったやろうなと思ったりしたんですけど。利用者さん達も予後が悪い人がいなかったり、重症化したりする事がなかったから良かったかなと思ったりですね。体調悪そう利用者さんとかいまして、復讐した時とか。

**後** 御飯が食べれないっていう話を聞いてたんですけど、割と利用者さん2日、3日かしないのかな？ある程度したらご飯をしっかりと食べられるようになったから治りも良かったのかなって思います。

**能** 食欲があったのは良かったですね。めぶき園で食事を食器に入れて提供するんですけど、弁当容器に変えたじゃないですか。最初はトレイにビニールかけて持って行ってみたいな事をしてたけど。あれは良かったよね。配りやすくてね。

**佐** 後片付けも楽でしたよね。

**後** 私が復活した時にはお風呂は入れられずに入れよう〜みたいな。ただ、それに利用者さんも対応してくれなかったのか、本当だったらこの時間じゃないと行かないというのがあるかもしれない、入れるという事が嬉しかったんだろうなって。お風呂に入るよって言ったから、すぐにお風呂セット持ってきて、時間が毎日違ったとしても（状態が）崩れたりとかなく、お風呂に入れるって分かっただけで見通しも立っし、流れとしてこなせるっていうところまで大きかったらうなって思いました。

**能** やっぱ現場判断って大事ですよね。こうなると、ついつい感染の事になるから、看護師甲斐さん！どうしたらいいですか！って聞いてやうなんですけど。

**甲** 私すごいなと思ってたのが、胸を張って言ったらいけないことだけど、私が生活訓練棟にいた時はまだ（感染者が）5人？6人だったのかな？生活訓練棟で利用者さん達を見るんだと思ってたから、生活訓練棟に入った時に、これをすればいいというのをパソコン

に残したんです。その中の一節には「お風呂は毎日入れなくていい」と書いていたんですよ。だけど戻ってきてみたら、毎日必ず利用者さんお風呂に入っていて。こんなこと言ったら病院の看護師たちを勘違いさせるけど、お風呂って体力も使う事だし、無理に毎日入らなくてもいいのかなって、何となく看護職はそう思っている。でも結局毎日入れたら職員の負担も大きかったと思うんですけど、リスクも高かったと思う、でも利用者さんの的にはさっき優香さんが言ったみたいに、見通しも立っし、お風呂に入れて嬉しいし、彼らの特性的にはすごく大切な事だったんだらうなと思うから、あれはめぶきならはというか、すごいなと思いましたね。

**能** やっぱ利用者さん達には、そういうベースが大事だったんだらうなっていう、時間はどうであれ毎日のルーティンとしてそれをやるっていう事が気持ちの安定につながる。そうなんだろうな〜と思いつつながら。でも本当に、ならないで頑張ってくれた現場の職員に感謝の気持ちですごく良かったです。

**後** はい、すごかったです。気合で乗り越えてました。私が復帰した時に、みんな事務所で「は〜」ってなってるけど、罹ったら今は回らなくなるって思ってるからこそ、それでも最後まで罹らずに乗り越えていきましたね。私が復帰してから残っていた人誰も罹らなかつたですよ。本当にすごい！すごいなって思いました。

**佐** ぼくはもう、本当に思います。それこそ、夜勤のゴミ回収があるじゃないですか。ゴミ回収の時に、日に日に栄養ドリンクのゴミが増えていくんですよ。もちろんきついですが、あれ飲んで頑張っているっていうのがあると思ふんですけど、そういうのを目の当たりにすると心までやられるというか。あそこが一番うちって大変なんだなって思っている。先ほどみなさんが言われたように、罹ったらめぶきが回らないっていう気持ちはすごく伝わりましたね。私も微力ながらあって、でも罹ってしまったと本当に申し訳ない気持ちになって。

**甲** 夜中に熱があるって気が付いた時、あっ…。詰んだって思いました。

**能** 私も抗原検査受けたらもう絶対出る！みたいなの。でもそれを陽して、現場に入ってしまうと余計に感染者を増やしてしまうって思うから、その判断が本当にみんなには申し訳なかったんだけど、（判断）させてもらったなということ。うちの職員がすごいなって思うのが、誰一人罹った人を責めなかったんですね。残っているメンバーでめぶきを守るんだっていう思いがすごかったから、本当に素晴らしい職員に囲まれたなど、いい施設だなと私は思いました。

インタビュー



能一由起子

めぶき園支援係長

後藤優香

めぶき園支援員

佐藤亮太

めぶき園支援員

甲斐和歌子

めぶき園 看護師



もえぎ情報局

座談会の様子はYouTube「もえぎ情報局チャンネル」からご覧になれます→



# 2021年度 会計処理等取扱指導指針

(単位：円)

貸借対照表	財産の部		負債の部	
	流動資産	276,471,341	流動負債	56,275,743
固定資産	1,589,038,349	固定負債	342,107,260	
		負債の部合計	398,383,003	
		純資産の部		
		基本金	56,415,470	
		国庫補助金等特別積立金	437,009,762	
		その他の積立金	0	
		次期繰越活動収支差額	973,701,455	
		純資産の部合計	1,467,126,687	
資産の部合計	1,865,509,690	負債及び純資産の部合計	1,865,509,690	

  

資金収支計算書	決算	
	就労事業による収支	収入
	支出	29,586,244
	就労事業資金収支差額	6,849
事業活動による収支	収入	1,161,073,919
	支出	1,034,016,158
	事業活動資金収支差額	127,057,761
施設整備等による収支	収入	7,623,200
	支出	88,607,863
	施設整備資金収支差額	-80,984,663
その他の活動による収支	収入	647,076
	支出	18,191,058
	その他の活動資金収支差額	-17,543,982
当期資金収支差額合計		28,535,965
前期末支払資金残高		225,496,901
当期末支払資金残高		254,032,866

  

事業活動計算書	勘定科目		決算	
	就労支援事業収益			29,593,093
就労支援事業費用			29,593,093	
就労支援事業増減差額			0	
サービス活動増減収益			1,151,197,128	
サービス活動増減費用			1,086,599,912	
サービス活動増減差額			64,597,216	
サービス活動外増減収益			9,876,791	
サービス活動外増減費用			4,273,666	
サービス活動外増減差額			5,603,125	
経常増減差額			70,200,341	
特別増減収益			7,623,196	
特別増減費用			4,034,081	
特別増減差額			3,589,115	
当期活動増減差額			73,789,456	
前期繰越活動増減差額			899,911,999	
当期末繰越活動増減差額			973,701,455	
その他の積立金取崩額			0	
その他の積立金積立額			0	
次期繰越活動増減差額			973,701,455	

  

財産目録	資産の部		負債の部				
	流動資産	現金預金	現金預金	131,655,817	流動負債	短期運営資金借入金	30,024,000
未収金			143,634,365	未払金		22,203,557	
商品・製品			96,164	仮受金		0	
立替金			1,084,995	その他の流動負債		4,048,186	
前払費用			0	合計		56,275,743	
短期貸付金			0	固定負債		長期設備等借入金	260,412,000
その他の流動資産			0			退職給与引当金	68,447,724
基本財産		建物	1,032,697,079			その他の固定負債	13,247,536
		土地	294,966,970			合計	342,107,260
		預金	0			負債の部合計	398,383,003
		その他の基本財産	0				純資産の部合計
		合計	1,327,664,049				
		固定資産	建物			34,129,019	
			構築物	41,396,371			
			車両運搬具	16,717,960			
器具および備品	28,289,894						
土地	29,750,258						
機械・装置	11,043,098						
建設仮勘定	0						
退職共済預け金	68,447,724						
リサイクル預託金	178,440						
権利・保証金等預け金	293,640						
その他の固定資産	31,127,896						
合計	261,374,300						
資産の部合計		1,865,509,690					
流動負債	短期運営資金借入金	30,024,000					
	未払金	22,203,557					
	仮受金	0					
	その他の流動負債	4,048,186					
	合計	56,275,743					
	固定負債	長期設備等借入金	260,412,000				
		退職給与引当金	68,447,724				
		その他の固定負債	13,247,536				
合計		342,107,260					
負債の部合計		398,383,003					
純資産の部合計		1,467,126,687					

# 第35回 全日本自閉症支援者協会 研究大会 (WEB大会)

## 令和5年1月28日(土) (YouTube Live 配信)

### 『全自者協の目指す人材育成』

「自閉症者の人権と生きるための発達保障、自立ならびに社会参加の実践と研究を推進し、これに参画するものの研鑽と相互交流の促進」を目的として1987年に発足した全国自閉症者施設協議会が一般社団法人全日本自閉症支援者協会として再スタートして6年が経過しました。

この間、SV研修などを通じて個人会員が増え、国からも専門家集団として研究協力や提言が求められるとともに、各地域におけるコンサルテーション活動への期待も高まりつつあるところです。併せて、ブロック活動や部会・委員会活動も動き始めており、今後一層の充実が期待されつつあります。

こうした流れを受けて、本年から常任理事会で協会理念の再構築を検討するプロジェクトも立ち上がりました。そこで、本大会では会員の皆様にその経過報告を行うとともに、外部機関からの期待とも照らし合わせて全自者協の人材育成について理解を深めることにしました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、対面による研修は断念せざるを得ませんが、WEB形式を活用することで、より多くの方に参加いただける機会につながるものと思われまます。ぜひとも35周年を迎える全自者協のこれまで、そしてこれからについて本大会で共有しましょう。



※ 講演など全ての内容の録画や二次利用を禁じます

### 協力者御芳名 (順不同)

● NTT西日本株式会社 九州支店 大分営業所様 ● 株式会社 ナナモリ様 ● 大塚 元夫様 ● 古賀 義孝様

## 大分市

### 法人本部

大分県大分市中戸次 5620-1  
TEL 097-574-8688 FAX 097-574-8687  
honbu@moeginosato.net

### へつぎ保育園

大分県大分市中戸次 5620-2  
TEL 097-574-8673 FAX 097-574-8674  
hetsuginhoikuen@moeginosato.net

### 大分県発達障がい者支援センター ECOAL

大分県大分市中戸次 5628 番地の1  
TEL 097-578-6952 FAX 097-578-6953  
ecoal@moeginosato.net

### こざいこども園

大分県大分市大字屋山 1658-6  
TEL 097-528-9900 FAX 097-528-9911  
kozai@moeginosato.net

### わくわくかん / 相談支援事業所 プラスα

大分県大分市大字屋山 1658-1  
TEL 097-592-8989 FAX 097-592-8990  
waku2can@moeginosato.net

### こども発達支援センター 大分なごみ園

大分県大分市丹生 210-3  
TEL 097-524-3636 FAX 097-524-3637  
oitanagomien@moeginosato.net

### 戸次なごみ園 / グループホームかわしま・へつぎ棟

大分県大分市中戸次 4454-1  
TEL 097-578-8323 FAX 097-578-8324  
hetsuginogomi@moeginosato.net

## 豊後大野市

### 障害者支援施設 めぶき園

大分県豊後大野市犬飼町下津尾 4355-10  
TEL 097-578-0818 FAX 097-578-0819  
mebukien@moeginosato.net

### ホームヘルプサービスセンター らすかる (めぶき園内)

大分県豊後大野市犬飼町下津尾 4355-10  
TEL 097-578-1888 FAX 097-578-0819  
rasukaru@moeginosato.net

### 相談支援事業所 プラス (ゆうゆうキッズ内)

大分県豊後大野市犬飼町甲原 1416-1  
TEL 097-578-1500 FAX 097-578-0166  
plus@moeginosato.net

### 障がい福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい

大分県豊後大野市犬飼町久原 1863 番地 8  
TEL 097-578-0077 FAX 097-578-1226  
donko@moeginosato.net

### グループホーム かわしま

大分県豊後大野市犬飼町下津尾 3709-8  
TEL 097-578-0885

### ライフサポートセンター なごみ園

大分県豊後大野市犬飼町大寒 2149 番地 1  
TEL 097-586-8070 FAX 097-586-8071  
nagomi@moeginosato.net

### いぬかいこども園

大分県豊後大野市犬飼町甲原 1419  
TEL 097-578-0706 FAX 097-578-0710  
inukai-hoikuen@moeginosato.net

### いぬかい子育て支援センター ゆうゆうキッズ

大分県豊後大野市犬飼町甲原 1416-1  
TEL 097-578-0188 FAX 097-578-0166  
yuyoukids@moeginosato.net

### こども発達・子育て支援センター なかよしひろば

大分県豊後大野市犬飼町甲原 1414-1  
TEL 097-586-8811 FAX 097-586-8818  
nakayoshi@moeginosato.net

### いぬかいこども園 なかよしホール

大分県豊後大野市犬飼町甲原 1421-40

## 編集後記

コタツやみかん、猫が思い浮かぶ季節がやってきて、2022年も残りわずかになりましたね。皆さん今年はどうな一年でしたか?コロナは収束まではいかないものの、少しずつwithコロナで旅行に行く人や、美味しいものを食べに行く人も増え、大分県にも活気が戻ってきているように感じます。私もすっかり感染対策をしながら、自然に触れたり美味しいものを食べて、リフレッシュしていきたいなと思います。本年度もアシストをお読みいただきありがとうございました。来年度も楽しんでいただけるよう取り組んで参りますのでよろしくお願致します。